

総務委員会

平成25年2月27日（水）

午前10時01分～午前11時48分

議会第1会議室

【出席委員】川崎直幸委員長、重松 徹副委員長、松永幹哉委員、松永憲明委員、川副龍之介委員、中本正一委員、福井章司委員、嘉村弘和委員、西岡義広委員、武藤恭博委員

【欠席委員】なし

【委員外議員】なし

【執行部出席者】

- ・議会事務局 今井議会総務課長
- ・出納室 陣内出納室長
- ・選挙管理委員会 石丸選挙管理委員会事務局長
- ・総務部 伊東総務部長
- ・企画調整部 石井企画調整部長
- ・市民生活部 西川市民生活部長
ほか、関係職員

【案件】

- ・議案審査、採決・まとめ

○川崎委員長

おはようございます。これより総務委員会を開会いたします。

最初に申し上げます。当委員会は会議録作成支援システムを使用しております。発言される方は必ず挙手し、委員長の指名を受けた後に青いボタンを押してください。なお、マイクは後押し優先です。発言した後に再びボタンを押さないようにしてください。

それでは、本委員会の審査日程をお諮りいたします。お手元に配付している審査日程案のとおり進めたいと思いますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

御異議がないようですので、この審査日程どおり審査を行います。

なお、付託議案の審査のために現地視察を希望される場合は、審査終了までにお申し出てください。

それでは、日程に基づき付託議案などの審査を行いますので、関係のない職員は退室していただいて結構でございます。

◎関係職員以外退席

○川崎委員長

それでは、議会事務局、出納室、選挙管理委員会及び文化振興課に関する議案の審査を行います。

第10号議案について執行部に議案の説明を求めます。

◎第10号議案 平成24年度佐賀市一般会計補正予算（第8号） 説明

○川崎委員長

執行部の説明が終わりました。委員からの質疑を受けたいと思います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑がないようですので、議会事務局、出納室、選挙管理委員会及び文化振興課に係る議案の審査を終わりたいと思います。

執行部の入れかえをお願いします。

◎執行部入れかわり

○川崎委員長

続きまして、総務部に関する議案の審査を行います。

まず、第10号議案の第1款を除く歳入について、執行部に説明を求めます。

◎第10号議案 平成24年度佐賀市一般会計補正予算（第8号）歳入（第1款を除く） 説明

○川崎委員長

説明が終わりました。委員の皆さんから御質疑を受けたいと思います。

○川副議員

資料19ページの不動産売払収入ですかね。分収林の販売金額が増収したということですが、分収林の割合は何対何かわかりますか。

○中島財政課長

歳出にかかわるものですが、ちょっと確認をさせていただいてよろしいでしょうか。

○川崎委員長

後でまたします。ほかに。

○中島財政課長

今の分につきましては、確認をして御報告でよろしいですかね。

○川崎委員長

いいですか、川副委員。

（「はい」と呼ぶ者あり）

よろしゅうございます。

ほかにないでしょうか。

○重松委員

この住宅リフォームですよ、1,800万円、17ページ。これはですよ、10月ぐらいに県の基金の積み増し金がかっでしよう、二十何%ね。それを市がいただいて、それが残った分ですか。それとも県が積み立てた分が残った分なのか、どっちなんですかね、これは。

○中島財政課長

住宅リフォームにつきましては、当初から予算を組んでおりました。そして、最初4月、5月で申し込みをして、申請が多くて打ち切りをしております。その後、県のほうが基金の積み増しを行いました。その積み増しに伴いまして、うちのほうについても配分がございまして、その分を補正で計上をして、受け付けにつきましては10月15日から12月7日、補正は9月の追加議案で出ささせていただいています。その中で、12月7日までの期間中に申し込みが約1,140件ございました。その分で枠が余ったということです。

この基金の分につきましては、今回減額をしますが、25年度の当初予算のほうに上増しといえますか、加算して予算計上させていただいておるところです。

○川崎委員長

ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、質疑がなければ、次に第10号議案の歳出について執行部の説明を求めます。

◎第10号議案 平成24年度佐賀市一般会計補正予算(第8号) 歳出 説明

○川崎委員長

説明が終わりました。委員からの質疑を受けたいと思います。

○松永憲明委員

今の資料7の12ページの繰越明許のところの消防費なんですけども、一番上の消防格納庫整備事業の箇所数は何カ所あるのか、それから、おくれた理由、もう少し詳しくお願いしたいのと、場所がもし言えたら場所もお願いします。

○園田消防防災課長

箇所数としては2カ所でございます。1カ所が北川副の用地購入——土地の部分、それと1カ所が格納庫の建設、富士町分でございます。

土地購入につきましては、境界査定等で法務局の登記の分と実際の確認する筆の境界がちょっと定かでないということで、その確認のために時間を要したってということで、今回繰り越しをさせていただいております。

それと、富士の格納庫につきましては、入札をさせていただいておりましたけども、応札がなかったということで、今回、やっと2月に入りまして応札があったということで、繰り越さしていただく形になったところでございます。以上でございます。

○松永憲明委員

富士町の方で最初応札がなかったっていうのは何か理由があるんですか。

○園田消防防災課長

私ども、建設住宅課のほうにお願いをいたしまして、入札等お願いしておるところでございますが、ランクがありまして、その入札をしていただいております。ただ、その中の範囲で入らなかったということを聞いておりまして、あと、形を変えてですね、それぞ

れの設計の変更をしていただいて、あと入札をしていただいたところですが、それでもちょっと入らなかったというところを聞いております。

○西岡委員

今の富士町の件ですが、消防防災課長、2月に何か応札があったような感じなんですが、だから、やさしくさい、完成がいつごろなんですよっていう部分、特に繰り越した部分、そいぎ2月に応札のあったろうけん、富士町の消防格納庫は完成はいつごろですか。

○園田消防防災課長

6月には完成予定ということで聞いております。

○福井章司委員

8番の資料のですね、36ページの一番上のやつ、土地建物の借上料の321万円の減で、ちょっとこれ今ぼそぼそつと言われたんで、勉強会のときは本省派遣の2人が1人ということ、1名減だと思っていただけでも、プラスで首都圏の事業部に妻帯者の予定だったのが1人になったと、こういうことを言われたんだけど、それぞれ幾らずつの減になっておるか、ちょっと教えてください。

○池田人事課長

本省派遣の室料が130万円程度です、1部屋当たりですね。その分がまず1部屋減となっております。それと、首都圏営業本部のほうですね、予算のほうでは252万円程度、2DKのお部屋を予定しておったものが、本省派遣と同じ独身者用のお部屋、130万円程度の部屋となっております。

○福井章司委員

そうすると、足すと260万円ぐらい。残りの60万円というのは、これは何なんですか。

○池田人事課長

済みません、少し確認して返答いたします。

○福井章司委員

86ページの分の自主防災組織の育成事業費の補助金で200万円の減ですが、団体数の申請が減ったと。当初の見積もりが幾らだったのか。ここ数年の団体の申請の経緯を、ここ3年ぐらいでちょっとお示しいただけますか。そして、それに対する指導というか、何と、いろいろな啓蒙というか、その辺のことについて言われましたが、どういう考え方を持ってあるのか、そこまで。

○園田消防防災課長

まず、見込みといたしましては、活動費補助と資機材の補助と、団体について1回限りという分の10万円。それと、活動費は毎年の分について上限2万円という分がございます。その予定としましては、資機材で26団体、それに活動費として20団体という予定を組んでおりました。ただ、実際に申請をいただきましたのが資機材で8団体、それと、活動費のほうで10団体と、半数ぐらいしか申請がなかったということによる減でございます。

流れといたしましては、大体同様の件数ぐらいの推移ということで来ておるんですけども、ことしは新しく諸富津、袋、大串、阿高と、単位自治会ではございますけれども、新しく立ち上げをしていただいたところもございます。

消防防災課といたしましては、出前講座とか、あるいは県の事業でありますけれども、自主防災組織の研修会とかを駆使しながら、特に北部、南部等でその組織率がちょっと少ないということもございまして、県の事業等につきましては北部、それと南部というような形で実施をさせていただいているところでございますが、事務事業評価でも御指摘いただきましたとおり、ちょっと伸びてない——今のところ、組織率36%ということになっているところでございます。ただ、先日、2月25日は諸富町のほうで町全体の自主防災組織の立ち上げの設立総会がございまして、町全体でございまして、組織率は少しまだ上がってくるかなとは思っているところでございますが、今後はまたこちらのほうから押しかけ講座——出前講座の類似ではございますけれども、こちらからお声かけ等をしてですね、加入率アップに努めていきたいというふうに思っているところです。

それと、先ほど申しました25年度予算で今のところ、先ほど言いました資機材10万円、それと活動費については2万円という分をアップさせていただいて、勉強会のほうでちょっと御説明させていただきましたけれども、メニュー化を行いまして、使い勝手のいい形にさせていただきたいと思っているところでございます。

○福井章司委員

出前講座ということとか、その後何か押しかけ出前みたいなこと言われたんでね、やっぱり押しかけ出前ぐらいやらないと、やっぱりなかなかPRというか、行き渡っていないようなことも思いますんで、その辺はよろしくお願いをしたいと。

ちなみに、出前講座って、24年度で何回ぐらい行われていますか。

○園田消防防災課長

今のところ、30回行っております。

先ほど言いました諸富町のほうが、加入というんですか、組織率——今のところ、まだ立ち上げ総会をされて申請書が上がってきていないので、数字的には入れておりませんが、36%が40%に一応上がるという形にはなります。以上でございます。

○西岡委員

課長、努力してから減額になったのかなって思うんですが、これももっともったとき、今、押しかけ講座とか、出前講座という観点で、我々もこの件は事務事業評価させていただいたんですが、もっともったこう、市報とかいろんな観点でね、自治会、特に北部地区とかなんとかおっしゃられたんですが、また、説明では来年度少し増額方向でもするよっていう説明があったんですかね。そういうことを踏まえてですね、もっともった地元に出向いていっていただきたいと思います。これは要望で、答弁よろしゅうございます。

○池田人事課長

先ほどの本省派遣者の——済みません、ページ36ページの一番上のほう、14節使用料及び賃借料、土地建物等借上料の部分でございます。

当初の予算がですね、本省派遣分、2部屋で340万円程度のお部屋でございました。これが結果、契約分が1部屋134万円ほどのお部屋になっております。

それと、首都圏営業本部の予算のほうでは、252万円の2DKを予定しておったんですけども、単身者ということで、本省派遣と同じランクのお部屋、134万9,000円のお部屋となっております。差し引きで321万2,000円の減額をお願いしているところでございます。済みません、申しわけありませんでした。

○西岡委員

ちょっと人事課長にお尋ねなんですけど、まず、一番最初に資料が総務部1という資料の形でですね、この77名の職員派遣の部分なんですけど、気仙沼に3名という形だけおっしゃられたかなと思うんですけど、中部広域含めてですね、何名、何名、何名って言うてもらわんばいかんなどと思っておりますが、いかがでしょうか。

○池田人事課長

申しわけありませんでした。

77名分の内訳を説明いたします。佐賀中部広域連合28名、佐賀中部広域連合の消防局のほうはですね、3名、佐賀市交通局8名、佐賀県後期高齢者医療広域連合5名、佐賀市上下水道局30名——30名の分は、支所等の兼務辞令を出している職員の分でございます。気仙沼市派遣3名、以上77名でございます。

○西岡委員

どうもありがとうございました。今からそういう形でやさしくですね、説明方、今後ともお願いをしたいと思います。

それと、職員研修のことなんですけど、35ページ、15目なんですけど、済みません、私は議員大体26年在職しております、今、大体10年、連続総務委員会に所属させていただいています。以前も含めてですね、約20年近く、合わせてですね、総務委員会に所属させていただいたのかなと思っておりますが、この職員研修、これだんだんこう、その当時から見たらですね、比率から含めて予算っていうものが減少しとるなっていう部分が1つ持っとなります。

今、この人事課長の説明では、この研修委託を含めてですね、希望者の減とかですね、そういう答弁がなされてきたのかなと思っておりますが、この部分についてはですね、やっぱり各部各課、出先も含めてね、積極的に希望ば募らんばいかんなどつくづく思いました。そいけん、その辺のさい、生かせるような体制というきゃん、そういう部分含めてね、どういうふうになっているのか、お答えをいただきたいと思っております。

その予算比率の少し少のうなっとなっとなっという部分が1つ、それと、節約してさい、減額もよかばってん、足らんような職員研修もあつてよかろうって私は考えているんですけど、そ

の部分についていかがか。

○伊東総務部長

職員研修につきましては、私も本職に就任しましてから強化をさしていただいております。特に中身はでこぼこありますけども、女性職員が増加しているということでありまして、女性職員のキャリア研修というのも始めておりますし、ことしから中堅職員——昨年は管理職の女性をしましたけれども、ことしは係長クラスの中堅職員にちょっと名前をつけまして、研修という固いもんですから、女子会という名前をつけまして集まっていたいですね、片一方で子育てをしながら、片一方で係長をやるという非常に大変な中で、お互いに苦勞を出し合うと。その中でスキルを共有し合うということで、ことしから始めたものでございます。

そういったランクに応じた研修と、先ほど課長が申しましたのはプレゼンテーションやったですかね……

(「ファシリテーション」と呼ぶ者あり)

ファシリテーションですか。そういったスキル研修と、そういった両方をやっておりますけども、今、研修には十分努力するべきだということでは言われましたので、私どももそこについてはですね、本当に人材育成が市役所の財産だというふうに思っております。ただ、その中でお金の使い道について少し努力をしたと。先ほど申しましたとおり、女子会のほうも講師を少し節約しながら、時には私が講師になってその分を浮かしたりとか、そういう努力もさしていただいておりますけども、いずれしましても研修が重要だということではですね、我々も再認識をしておるところでございます。以上です。

○西岡委員

それは総務部長、講師にまでなってもろうて、御苦勞様でございました。大変すばらしか研修やったかなと想定しておりますが、この部分はね、本当に特にお願いをしたい。8市町村合併してきたわけなんですけど、まだ支所の職員の方々も、こういう部分が十分反映されているのか、積極的に受け入れる体制になっているのかっていう観点でね、少しその辺の部分は疑問を持っているっていうことをあえて申し上げたいと思いますが、あえてその辺よろしくをお願いをしたいと思いますが、何か答弁あったらよろしく。

○伊東総務部長

多分、研修等でそういう御意見があるということで、これも市長のほうからも言われていますけども、例えば、今総務省の職員研修機関であります自治大学校、ここにつきましても今3コース出しております。女性コース、それと管理職コース、それとそれ以外のもう1つのコースと。その中で必ず、先ほど言われたとおり旧佐賀市以外の職員を入れることということで、これは市長からも言われておりますので、そういった研修の中で差別が見えるようなことがないようにということでは言われております。

また、我々もちろん、それを肝に銘じて、今、委員言われたとおりの視点で頑張っ

いきたいと思っております。以上です。

○松永幹哉委員

ちなみに、研修の予定者数に対して何名ぐらいの申し込みがあったのでしょうか。

○池田人事課長

ファシリテーション研修、8名の申し込みだったです。予定者40名のところ、8名と。

○松永幹哉委員

どういう——職員がスキルを上げたいというような、そのアンケートとか希望、その辺はとられているのでしょうか。

○池田人事課長

研修会が終わったときにアンケートはとっておりますし、年に1回、研修全般に関してのアンケートをとっております。

○嘉村委員

先ほど、松永憲明委員が御質問された繰越明許費の中の消防格納庫、富士町のね。これは発注、いわゆる入札されたのが2月とおっしゃられたんですかね。いつやったかね。

○園田消防防災課長

最終的に業者が決まったのが2月でございます。

○嘉村委員

一番最初に入札したのは。

○園田消防防災課長

10月でございます。

(「わかりました」と呼ぶ者あり)

○中島財政課長

済みません、よろしいでしょうか。

歳入のほうで川副委員のほうから御質問のありました分収林の分収率の割合、これは市と地元の分収でございまして、市が4、地元が6、4対6という割合になつとります。

○川崎委員長

いいでしょうか——いいですね。

それでは、質疑がなければ総務部にかかわる議案の審査を終了いたします。

執行部の入れかわりをお願いします。

◎執行部入れかわり

○川崎委員長

続きまして、企画調整に関する議案の審査を行います。

第10号議案について執行部に説明を求めます。

◎第10号議案 平成24年度佐賀市一般会計補正予算（第8号） 説明

○川崎委員長

説明が終わりました。委員からの質疑を受けたいと思います。

はい、松永憲明委員。

○松永憲明委員

資料ナンバー8の33ページですが、人口問題対策経費の200万円近くの減なんですけど、事業実績による減というようなことで説明があったわけですけども、事業計画が具体的にどういうふうになって、どこら辺が実績が落ちたのか、そこら辺、何かわかればお願いします。

○松尾企画調整部副部長兼総合政策課長

説明のほうで、事業の補助金名とかで御説明をさせていただきましたけども、幾つかメニューが分かれておりますけども、集落活性化支援補助金、これは町において活性化の検討される場合に、50万円の補助を行うものでございますけども、これは富士と三瀬を見込みということですね、2件分ということで50万円ずつ措置しておりましたけども、三瀬のほうで活性化会議ということで立ち上げをされましたけども、富士のほうでは当初検討していたところがですね、ちょっとまず当面、自分たちでやってみたいというようなことの御意見がありまして、その分が執行なされませんで、100万円のうち50万円が残っているという中身でございます。

次に、空き家対策補助金でございます。これは、空き家の改修等に補助を出している分でございますけども、これにつきまして150万円予算をお願いしておりましたけども、1件につきまして実施しております。1件についてはまだちょっと少しですね、検討をもう少しということがありましたので、その分保留ということですね。残りの50万円は該当がないということで、その50万円を今落とささせていただいているところでございます。

あとですね、ちょっといろいろありますけど、委員報酬、これはですね、三瀬、富士の地域審議会、この報酬、こちらのほうで予定しておりましたけども、50万7,000円予定しているうちに、半分ぐらい使いまして、26万4,000円が落とささせていただくというものでございます。

また、車借上料、こちらのほうはですね、地域の方といろいろ先進地視察等要望があった場合に対応したいということで、こちらのほうも予算要求をお願いしておりましたけども、旅館業組合とか観光協会とかが一体となった事業等が行われまして、ちょっとこの分については、町のほうでですね、ちょっと今のところ使わないということになりましたので、26万9,000円ですかね、こういったものをちょっと執行残しているということでございます。あと、旅費等の残ということになっております。

内訳については、おおむね以上でございます。

○西岡委員

総合政策課長、ちょっとお尋ねなんですけど、地域コミュニティーの減額250万円のことなんですけど、これはモデル事業けん、よく説明を、前総合政策課長の今の部長もおられま

すし、このことはずっと報告なされてきたかと思っております。23年度は、私の記憶では4校区、嘉瀬、本庄、金立、諸富やったかなと思っております。そして今回は3校区、1校区の減という形でね、まず、ことしの3校区教えていただきたいと思っております。

○松尾企画調整部副部長兼総合政策課長

北川副と東与賀校区、川上校区でございます。

○西岡委員

これはモデル事業になつとるけん、この意気込みでいうか、3校区になったばってん、あと1校区、自治会長会といろんな観点でコンタクトをとりながら、あと1つ足らんけん、1つどがんでんやっっていくんだっていう意気込みをおっしゃられたわけですよ。そいけん、その部分の意気込みが足らんけん、結局、4、4てならんやったわけよ。この1つ足らん部分、努力はされたらうばってん、その部分の1校区、なし足らんやったかという部分を教えてください。

○石井企画調整部長

24年度のモデル校区の最終的な3校区の決定に至るまでには、23年度中、いわゆる年末から年始にかけて自治会長会にお願いし、また私どもからも出向いてまいりました、循誘校区、勸興校区——数校区ですね。何回かお願いはしてきましたけれども、私どもの努力が足らず、最終的には、自分たちで当面もう少しやっていきたいというふうなことで、最終的に3校区になったわけでございます。

ただですね、一番最初からコミュニティーまちづくり事業は3年間4校区ずつやりたいということは宣言しておりましたので、来年度はですね、ぜひ、これじゃいかんということで、随分昨年度から、表現は悪いですが営業活動といいますか、申し込みに向けて随分行きました。幸い、今現在で25年度にモデル校区をやりたいというのが6校区出ております。さらに、また今週、来週もまた説明に行きますけども、あと2校区あたりはですね、ちょっと4月1日からでは間に合わないかもしれないけども、ちょっとおくれるかもしれないけども、やるかもしれないということで、ひよっとしたらマックスで8校区になるかもしれません。一番冒頭言いましたように12校区を目標にしておりましたので、それ以上の努力はしていきたいということで、今そういう状況——努力した結果、そういう状況になっております。

○西岡委員

24年度努力したばってん、結局、2校区御理解が得られなかったという観点で3校区になってしまったということで、当初の4、4、4っていう形についてはですね、これをすることができなかった、1校区足らなかったというのをあえて指摘しておきたいと思っております。

それとあと1つ、この250万円減額してあつけん、この部分は繰り越しかんかになつとるかなと私思ったんですが、23、24、25年度っていう3年間のこの事業やけん、この部分

は4、4、4けん、この余った部分を5にすることができんやっとなかな。そういう観点で繰り越してということの知恵の出なかったのかなって言うふうには思うんですが、その辺の考えはいかがですか。

○松尾企画調整部副部長兼総合政策課長

その部分については、おっしゃるような部分は当然あったかと思えます。ただ、結果ですね、確かに24年度は3校区になってしまって、逆に25年度はですね、もしかしたら6校区以上お願いができるという状況でございます。今のところですね、ちょっとこれ当初予算の話になりますけども、4、4、4ということで、4校区でお願いしている分がですね、もし校区数がふえましたら繰り越しという考えもあったかもしれませんが、その場合ちょっと実績——今まだ協議中の分もありますので、見てですね、後ほど校区数に合わせてですね、また追加の予算はお願いするとかいうのをですね、ちょっとお願いしたいと思っております。そこら辺、そういうことで対応させていただきたいと思えます。よろしくお願いたします。

○西岡委員

まあ、わかりました。どうぞ3年間やけん、くれぐれもですね、その予算関係については配慮方をお願いしたい。そして、その目的達成は全部の小学校校区、1つは中学校校区になるかわからんばってん、そこまでなし遂げるんだって今の石井部長おっしゃられたわけでしょう。その部分を忘れんような形でよろしくお願をしたいと思っております。以上です。

○石井企画調整部長

先ほど西岡委員がおっしゃられました、基本的にはモデル校区の12校区、これはもう宣言さしてもらいました。ただ、最終的に26年度以降については、3年間のモデル校区の実績に基づき、また自治会長会と十分話し合いをした上でどうするかを決定するというところで、その時点で32校区——小学校単位では32校区ですけども、これはまだ正式に宣言したわけではございません。とりあえず12校区のモデル校区については宣言をさせていただいたという状況でございます。

○西岡委員

ちょっと俺、勘違いかね。当初さい、このすばらしい事業のあって、地域コミュニティーについては全てなし遂げていくんだってという意気込みがあって、そういうお答えがあったと私は認識しとるとばってん、今ね、その12校区終わった後についてですよ、その後、自治会長会と話し合いながら進めていくんだと聞こえたばってん、全てなし遂げていくんだって言うふうには聞こえたんですが、その辺がちょっと変わったなと思とるんですが、いかがですか。

○石井企画調整部長

思いは変わっておりません。これは、地域コミュニティーというのは絶対必要なものと

いうことで我々は思っております、そういうことから22年度以降ずっと推進してきたわけでございます。

ただ、やっぱり地域のコミュニティーですので、当事者の意向というのをやっぱり尊重しながらこれは推進していくべきということで、私たちもそういうルールをつくらせてきました。毎回毎回、自治会長会にきちんと諮って、今回は4校区お願いしたい、今回は3校区でどうでしょうかということをお諮りして、そこで自治会協議会理事会のほうで承認いただいで推進しております。そういう手続上といいますか、一方的に行政が進めるもんじゃありませんという姿勢という意味で、私そういうふうな説明をさせていただきました。気持ちはずひやりたいというふうに思っております。

○川崎委員長

ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

それでは、質疑がなければ、企画調整部に関する議案の審査を終わります。

◎執行部入れかわり

○川崎委員長

続きまして市民生活部に関する議案の審査を行います。

まず、第10号議案の歳入第1款について執行部に説明を求めます。

◎第10号議案 平成24年度佐賀市一般会計補正予算(第8号) 歳入第1款 説明

○川崎委員長

以上で歳入の説明は終わりですね。

そしたら、委員の皆さん、質疑を受けたいと思いますが。

(「なし」と呼ぶ者あり)

なければ、歳出のほうに行きたいと思いますので、説明をお願いします。

◎第10号議案 平成24年度佐賀市一般会計補正予算(第8号) 歳出 説明

○川崎委員長

それでは、説明が終わりました。委員から質疑を受けたいと思います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

いいですか。

質疑がなければ、市民生活に関する議案の審査を終わります。

以上で当委員会に付託された議案に係る審査を終了いたします。

執行部は退席してよろしゅうございます。

お疲れさまでございました。

◎執行部退室

○川崎委員長

付託議案の審査が終了いたしました。

付託議案の審査に関して現地視察の御要望はございますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないですね。

それでは、採決に入る前に、まず、お伺いいたします。当委員会に付託された議案について反対意見はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

反対意見がないようですので、第10号議案を簡易採決いたします。

お諮りいたします。当委員会に付託された第10号議案について原案を可決することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、第10号議案について原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上で当委員会に付託された議案の採決を終了いたしました。

次に、本会議での委員長報告についてはいかががいたしましょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

なしでよかですね。

最後に、委員会の会議録が公開されることに伴いまして、当委員会における字句、数字その他の整理についてお諮りいたします。

本委員会の会議録につきましては、字句、数字その他の整理については委員長に委任されたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議ないようでございますので、委員会に委任することに決定いたしました。

以上をもちまして総務委員会を終了いたします。